

## △チロニン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 リオチロニンナトリウム Liothyronine Sodium 【分類】 甲状腺ホルモン製剤 [T3]

【単位】  $\Delta 2.5 \mu\text{g}$ ・ $\nabla 5 \mu\text{g}$ /錠

【常用量】 成人への初回量  $5 \sim 25 \mu\text{g}$ /日とし、1～2週間間隔で少しずつ増量。維持量  $25 \sim 75 \mu\text{g}$ /日

【用法】

【透析患者への投与方法】

【保存期 CKD 患者への投与方法】

【特徴】

【主な副作用・毒性】 ショック、狭心症、うつ血性心不全、肝機能障害、副腎クリーゼ、発疹、心悸亢進、脈拍増加、不整脈、振戦、不眠、頭痛、めまい、発汗、神経過敏・興奮・不安感・躁うつ等の精神症状、食欲不振、嘔吐、下痢、筋肉痛、月経障害、体重減少、脱力感、皮膚の潮紅など

【安全性に関する情報】

【F】 大部分吸収されると思われる (5)

【tmax】 2.4hr (1)

【代謝】 生理的ホルモン代謝経路により代謝 (1)

【排泄】 分解物が尿中に主に回収 [ラット] (1)

【t1/2】 free 体 7hr (1)

【蛋白結合率】 99%以上 (1)

【Vd】 54L/man [iv] (1)

【MW】 672.96

【透析性】

【O/W 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20200401

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。